**「日本語・日本文化研修留学生問題に関する検討会議」アンケート（令和3年度）**

本会議では、はじめに文部科学省担当者から「留学生政策」などに関してお話ししていただく予定です。その後、日研生を取り巻く問題について、参加者の間で意見交換をはかり、情報を共有できるようにしたいと考えております。

次に、例年同様に、参加大学から事例報告を行っていただきたいと考えております。

つきましては、各大学での実践例の報告にご協力くださいますようお願いいたします。

全体で2テーマ、各テーマ２大学として、合計４大学から事例紹介をしていただければと思っております。パワーポイントなどによる事例紹介を1大学につき20分程度として、ご報告ごとに質疑応答の時間を設けたいと思っております。

ご報告テーマは自由です。これまでの参加者アンケートには、下記のようなご提案・ご要望がありました。参考例としてご覧ください。

・コロナ禍における日研生教育の取り組みについて

・オンライン授業の取り組みについて

・日本人学生との共修について（方法、長所・短所など）

・論文・レポートのテーマの決め方と指導方法、評価方法について

・他大学・地域・企業等との連携について

・ネットワークづくりについて（SNSの活用、修了後のネットワーク体制など）

・修了生のフォローアップについて（フォロー体制、進路や留学後の社会貢献活動など）

なお、時間の制約上、事例報告を「行う」とご回答いただいた大学のすべてにご発表いただくことができない場合もございますので何卒ご了承ください。

大学名：

記入者所属・氏名：

・事例報告について　（　行う　・　行わない　）←　○をおつけください

・事例報告のテーマ　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

◎回答は8月31日（火）までに、メールタイトル「日研生会議（大学名）」でお送りください。（メール宛先：cjlc@office.osaka-u.ac.jp ）

◎オンライン（Zoom）によるご発表も可能です。

◎「行う」とご回答くださった大学には、後日、改めてご連絡させていただきます。

◎ご発表くださる場合には、A4サイズ1枚程度のハンドアウトを10月31日までに、電子メール（cjlc@office.osaka-u.ac.jp、メールタイトル「日研生会議ハンドアウト（大学名）」）でお送りください。